



リングせん断試験機 RST-01.pc

- 目の粗い材料試験向け
- コンピューター制御試験機
- 代表的アプリケーション
製品開発、製品の特性評価、品質管理、比較試験
トラブルシューティング、サイロの設計、など

<特長>

- 粗い材料向け コンピューター制御 リングせん断試験機
- 流動性の高い/低い材料、大きなせん断変形を必要とする材料など、あらゆる材料を試験可
- 微粒粉体やバルク固形物の流動特性を正確に測定
- せん断力を正確に測定するためのツインロードビームシステム(F1,F2)
- せん断セル回転のためのデジタル制御モーター駆動
- 誘導型変位変換器で高密度を連続的に測定
- PCとの通信用にアンプ、A/D、電子部品を装備

RS-232またはUSB経由でPCに直接接続可能（特別なPCカード不要）

<信頼の高い使いやすさ>

- ◎せん断試験機は約30年以上も前からせん断試験に使われており、従来の手動型を自動化し操作を簡単にしました。
- ◎専用のコンピュータソフトの使用で、試験機の操作と試験結果の評価が簡単に行えます。

<用途>

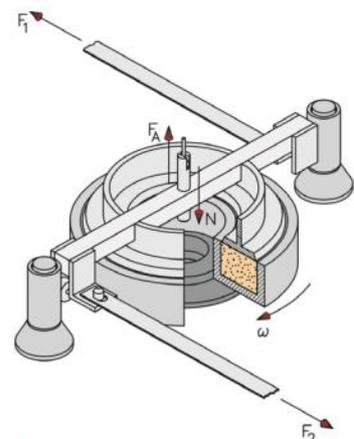
- ◎粗い目の材料に適したリングせん断試験機。
- ◎弾性のある製品（プラスチック粉、ノギリ粉）や、凝集力のある、湿った、または非常に細かい粒度の製品（汚泥、湿った粘土、カーボンブラックなど）など、他の試験機では試験が困難なバルク固形物の流動特性を測定するのに適した装置です。
- ◎定性試験（流動性、比較測定）、流動特性、時間圧密の測定、壁の摩擦角の測定（壁の降伏軌跡）、各種せん断セルの形状（応力度や試料量に応じた調整）など

<テスト手順 ※ASTM-D6773フォロー>

1. 粉体を環状トラフに収容します
2. 環状の蓋を通して垂直荷重をかけます
3. 粉体や蓋に対してせん断セルが相対的に回転し、せん断に必要なトルクを測定します
4. 降伏軌跡、壁降伏軌跡、時間降伏軌跡を自動的に測定（通常20分以内）



○ Shear cell MV10 (stainless steel)



<製品仕様>

品番	OSK 50ET200
寸法	1040mm×1300mm×410mm (W×H×D)
重量	120kg
電力条件	DC24V、2A (110V～240V、50Hz/60Hz用の外部粉体供給装置と一緒に納入)
垂直応力	最大約45kg (約450N)、 常用応力は標準せん断セルMタイプで約20kPa、小型セルSタイプで約50kPa。
せん断セル (サンプル体積寸法)	標準：内径100mm、外径200mm、高さ40mm (試料体積約900cm)
せん断速度	約0.05～30mm/min (直径150mm)
垂直応力とせん断力の測定システム	ひずみゲージ付きロードビーム
サンプル高さ測定システム	誘導型変位変換器内蔵アンプ
通信	A/D/Dコンバータ、D/Aコンバータ、シリアル通信ポート(RS-232、COM1またはCOM2)
カラー	ケーシング：ナイトブルー、支柱及びその他：シルバー(アルミニウム及びステンレススチール)

<ソフトウェア仕様>

PC要件	Microsoft Windows XP/7/8/10
通信	シリアル通信ポート、又は USBポート

<アクセサリ>

時間圧密作業台、せん断セル (M, MV10, S, SV10, XS:通常はMがセット納入)、壁面摩擦セル(WM, WS)